

しまね景観賞 「優秀賞」をダブル受賞！

このたび、魅力ある島根の景観づくりに貢献している街並みや活動を表彰する「第21回しまね景観賞」が決定され、海士町の旧崎小学校とレインボービーチが優秀賞に選ばれました。応募件数は全5部門で157件、受賞件数は11件(大賞1件、優秀賞5件、奨励賞5件)でした。

公共建築物部門での受賞は、旧海士町立崎小学校。昭和57年度に廃校になった後、地域の漁具や民具を保存する資料館として使われていた建物を、平成20年に改修しました。以前の校舎の面影を残すため石州瓦を使うことにこだわり、赤い瓦と黒い木板、白壁のコントラストが絶妙です。現在、崎集落の方々による「蘇婆訶梅」の製造拠点として、地域の風土や文化を後世に伝える役割を担うほか、若いお母さんと子どもたちが遊ぶ憩いの場としても活用されています。



土木施設部門での受賞は、レインボービーチ。平成15年度より7年の歳月をかけて築き上げた人工ビーチです。計画にあたっては島民の声を重んじ、周辺の景観とマッチするよう自然素材を使うことにこだわり、元々の海岸の曲線を活かした設計を心がけました。青と碧と緑色、さわやかな潮の香り、潮騒など、ここにいると五感が研ぎ澄まされ心から癒されるような空間です。



かつて小泉八雲は菱浦港を鏡ヶ浦と称し、この郷をこよなく愛しました。時は移り変わっても島の秀麗さや島人の誇りは不変です。ここレインボービーチも、その礎として歴史に刻まれていくことを願います。(産業創出課 磯谷光司)

宇受賀手づくり福祉会 県知事表彰！

宇受賀区でジゲの活性化を目指した活動を行っている「宇受賀手づくり福祉会」が、「しまね流・福祉のまちづくり活動団体」として功績を認められ、島根県知事から表彰されました。県による活動団体の表彰は今回が初めてで、県内約2800団体の中から7団体が選ばれました。

宇受賀手づくり福祉会は、平成14年3月に当時社協の理事だった中前文雄さんが初代会長となって発足。区長や公民館長、民生委員、福祉委員などで構成され、現在は松田範雄さんが会長を務めています。

子ども会から老人会、グラウンドゴルフや配食グループ、サンライズ宇受賀など、ジゲで活動するさまざまな団体を福祉会がつなぎ、みんなで策定した「活動計画」を実践しながら、息の長い活動を続けています。

今回の受賞に当たっては、特に、Iターン者やUターン者も一緒に地域活動の担い手になれるような働きかけを行っていること、多様な年代が話し合いながら地域活動を持続していける体制が整いつつあることが評価されました。

福祉会が活動を始めてから10年以上がたち、住民どうしのふれあいの機会が増えたことで、「世代を超えてあいさつや声かけをできるようになった」(中前さん)と、着実な成果が出ています。

一人ひとりの知恵と汗を出し合って住みよいジゲづくりに取り組む様子は、他の地域への波及効果も期待されます。



2月4日に県庁で行われた表彰式で、溝口知事から表彰状を受け取る宇受賀公民館長の湯本茂則さん

隠岐の魅力が語れるようになり！ 隠岐世界ジオパーク講座開催



第1回講座の様子

平成25年9月に隠岐諸島が世界ジオパークに認定されたことを受け、全2回の「隠岐世界ジオパーク講座」が行われました。隠岐ジオパーク推進協議会と海士町教育委員会が共催し、地元の観光関係者や役員職員などを対象に行われたもので、ジオパークとしての隠岐の魅力とは何か、ジオパークの切り口からどのように地域活性化につなげていくのかといったテーマの講義となりました。

2月12日(水)の第1回は「魅力編」で、講師は隠岐ジオパ

例えば…



野辺一寛さん

なぜ後鳥羽上皇は海士へ流されてきたのか?といった歴史のフシギを隠岐の大地の成り立ちと繋げて考えてみるなど、なるほど!と納得できる「隠岐ならではのストーリー」の数々に、受講者の皆さんも興味津々の様子でした。

ク推進協議会事務局の野辺一寛さん。隠岐が他のジオパークとどう違うのか、代表的ジオサイトや生態系の希少性・独自性など、自分たちで隠岐の魅力に自信をもって語れるようになるための基礎知識を教えていただきました。

第2回の「活用編」は19日(水)、世界ジオパークというブランドを利用した具体的な産業振興策について考えました。海士町での実践例として、深谷治さんが隠岐しぜんむらの取り組みを紹介。地域資源を活かして自然環境を学ぶエコツア

や無人島ツアーなど、「ただの観光ではなく、人間が生きる原点を見つめることができるような学びのあるツアーをしたい」という深谷さん。「結局、誰のためのジオパークなのか?地域の住民にも広くメリットがあるように展開していくべきではないか」と、受益者を広げることの重要性を訴えました。



海士町教育委員会では、「中央公民館の『ふるさと再発見ツアー』のプログラムに組み込むなど、今後は町民の皆さんが広く参加しやすいようなスケジュールと内容で研修会等を行っていききたい」(佃稔教育長)としています。

大相撲1月場所 郷土出身力士星取表

	初日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	中日	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	千秋楽
海士の島(八角)	●	—	—	○	—	●	○	—	●	—	○	—	—	●	—
宇野(八角)	—	●	—	○	●	—	—	○	○	—	●	—	—	○	—

○ 勝ち ● 負け — 取り組みなし
成績: 【海士の島】 3勝4敗 (三段目西38枚目)
【宇野】 4勝3敗 (序二段東83枚目)

大相撲!



大関稀勢の里の横綱昇進に期待がかかった初場所。序盤から星を取りこぼし、早々に昇進見送りが決定的になってしまった大関をよそに、同じ大関の鶴竜が好調。初の幕内優勝は逃したものの、横綱白鵬を破るなど、活躍しました。

海士出身の2力士、海士の島と宇野は、お互い3勝3敗で迎えた今場所最後の一番で、明暗が分かれてしまいました。

三段目上位の海士の島は、相手の素早い動きに翻弄されながらも捕まえようとしましたが、やや強引な投げをかわされて押し切られ、2場所ぶりの負け越しとなりました。とは言え、体がまた大きくなったためか良い相撲が目立つようになり、また来場所は期待できそうです。序二段下位の宇野は、体格差のある相手で、立ち合い何度が突っ掛けましたが、相手の出るところを上手くいなし、土俵を割らせました。勝ち越して、来場所も番付を上げます。

(相撲ウォッチャーNGSX)

《大相撲3月場所》

3月9日(日)〜23日(日) 於 大阪府立体育会館

三段目 東51枚目 海士の島(八角部屋)

序二段 東53枚目 宇野(八角部屋)